

ふじみ野

市議会だより

No.36

H27.2.1 発行

埼玉県ふじみ野市議会

CONTENTS

総括質疑

持続可能な社会保障をつくりだす 3p

国保税改正条例、多目的グラウンド条例、雨水対策などを議論

平成26年度一般会計補正予算

**企業誘致で雇用の拡大
地権者の意向調査から始めます** 4p

お答えします! 議員のこと 5p

市政を問う! 一般質問 16人が政策論議 6p

働く人シリーズ⑮

製綿業 (ふとん打ち直し)

「捨てる」から「活かす」へ
物を大切に使う日本伝統の技が注目されています。

関連記事...12ページ



持続可能な社会保障をつくりだす

国保税改正条例、多目的グラウンド条例、雨水対策などを議論



医療費削減のための国保の特定保健指導

平成26年第4回（12月）定例会では、一般会計補正予算や多目的グラウンド条例、国民健康保険条例の一部改正などの議案が提出されました。特に国保税条例の一部改正に関しては、本会議での総括質疑や委員会審査で、市民生活への

影響や国保財政の健全化について多角的かつ慎重な議論が展開されました。最終日には本庁舎耐震・改修工事の変更契約といった追加議案を含め、市長提出議案27件、議員提出議案6件が本議会で審議・採決されました。

安心して必要な医療を受けられるために

問 国民健康保険条例の一部改正により、税率の見直し、課税方式や課税限度額の変更が行われる。どのような理由によるものか。

答 医療費は年々増加するが、これまで健康保険税の引き上げを行わなかったため、平成26年度一般会計からの法定外繰入金は約9億8000万円となった。国保財政の健全化のためには課税方式および税率の改正が必要である。

問 従来4方式といわれる計算方法から、資産割平等割が廃止されて、所得割、均等割の2方式のみの賦課方式に変更される。これによる影響は、

提出議案と審議結果

● 全員賛成 ○ 賛成多数
・ 否決

● 専決処分の承認

● 一般会計補正予算（第4号）承認

● 平成26年度補正予算

● 一般会計（第5号）

● 一般会計（第6号）

● 一般会計（第7号）

● 国民健康保険特別会計（第2号）

● 介護保険特別会計（第2号）

● 介護保険特別会計（第3号）

● 下水道事業特別会計（第2号）

● 条例の制定

○ 多目的グラウンド条例

● 条例の一部改正

○ 国民健康保険条例

○ 市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例

○ 市長及び副市長の給与等に関する条例

○ 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例

○ 職員の給与に関する条例

○ 国民健康保険条例

● 契約の締結

● 本庁舎増築、耐震補強及び大規模改修工事請負変更契約

● 市立電久保小学校校舎大規模改修工事請負変更契約

● 市立三角小学校校舎大規模改修工事請負変更契約

● 道路線

○ 認定（6件）

● 指定管理者の指定

● 市立市民交流プラザ及び市立コスモスホール

● 市立放課後児童クラブ

○ 議決事項の一部変更

○ 指定管理者に管理を行わせる社会体育施設の追加

以上、可決

● 意見書

● 国民の健康長寿のために公的社会保障を拡充することを求める意見書

● 「35人学級見直し」の撤回を求める意見書

● 雇用の安定と労働者保護のルール改善の中止を求める意見書

● 原葬に依存せず、再生可能エネルギーへ転換することを求める意見書

● 政党助成金の廃止を求める意見書

● 消費税10%は「先送り」実施ではなく中止を求める意見書

以上、否決

多目的グラウンドの利用負担とは

問 旧大井清掃センター跡に多目的グラウンドがオープンするが、どのような施設になるのか。

答 開設を4月上旬に設定し、準備を進めている。グラウンドでの競技種目はソフトボール、少年サッカー、フットサルがある。運動会や競技会での利用は必要性に応じて、全面もしくは半面を占有していただく。利用時間は1時間単位を考えている。

問 使用料はどうなるのか。

答 市の受益と負担の方針に基づき、応分の受益者負担をお願いする。全面利用の場合1時間3090円、半面1540円を基本に、中学生、障がい者には半額とするが、

元福岡地区の雨水被害解消

問 元福岡地区の雨水対策工事の内容は、

答 埼玉県とふじみ野市は広い範囲での雨水対策を連携して進めるため、河川・下水道事業調整協議会を設置し、その協議に基づき排水ポンプの設置を行うことになった。そこで元福岡集会所周辺、旧給食センター、寺尾小学校周辺の3カ所に雨水を貯留するためのピットおよび排水ポンプを設置し、江川都市下水道からの逆流を防止するフラップゲートも設置する。

問 この工事ですでに効果があるのか。

答 元福岡地区の下水管は一般下水道として整備されたため、口径が小さ

かったが、この工事による強制排出能力は時間雨量35mmに対応できる。浸水被害は大幅に軽減できると考えている。

◆ 議案に対する質疑

- 誠風会 山田敏夫議員
- 信政会 有山 茂議員
- 公明党 伊藤美枝子議員
- 日本共産党 伊藤初美議員

お答えします! 議員のこと

私たち議員が市民の皆さんからよく聞かれる質問にお答えします。

Q 議員になるための条件は?

市議会議員に立候補するには「日本国民で満25歳以上であること」「ふじみ野市議会議員の選挙権を持っていること」のほかは、男女の別・障がいの有無などでの制限はありません。

Q 議員の役割は?

市議会議員は執行部と向き合い、予算や条例を審議する役割があります。特に重要なのは、市政全般をチェックすることや、政策を提言することです。

Q 普段は何をしているの?

主に次のことをしています。

- 市民からの相談を受ける
- 調査（現場を見て歩くこと）をする
- それぞれ必要なテーマの勉強会に参加したり、視察を実施したりする
- 視察等で得た情報をふじみ野市の施策に活かすために活動する
- 所属している常任委員会やその他の組合議会（衛生・消防）等に出席する
- 地域等の諸会合に参加する

建設中の環境センター視察




定例会・臨時会開催場所変更のお知らせ

議会議場改修工事に伴い、平成27年3月から7月までに開催される定例会・臨時会については、上福岡公民館（市役所本庁舎北側）3階ホールで開催される予定です。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。（TEL 049-262-9046）

平成26年度一般会計補正予算 全員賛成で可決

企業誘致推進事業 補正額…388万円

企業誘致が進む大野原地域

企業誘致で雇用の拡大 地権者の意向調査から始めます

都市計画マスタープランで工業系土地利用ゾーンと位置付けられている亀久保大野原地域と、産業系土地利用ゾーンの国道254号バイパス沿線の企業誘致を進めるにあたっての基礎調査費用が提案されました。

●主な質疑

問 企業誘致の目的は。
答 優良な企業を誘致することにより、雇用の拡大を図ることを目的とする。そのことにより、地域経済の活性化や税収の確保が見込まれる。

問 大野原地域は現在も企業誘致が進んでいるが、なぜ調査が必要なのか。
答 26ヘクタールのうち、10ヘクタールが未利用地であるため、権利調査を行い、今後の方向性を見つけていきたい。

問 国道254号バイパス沿道は農業振興地域だが、誘致を進められるのか。
答 農業を継続する意思があるのかを調査するのが第一の目的である。企業誘致に適しているかは今後の検討課題である。

問 近隣住民には説明は行わないのか。
答 今回は地権者のみ意向調査を実施する予定である。

問 調査後の計画は。
答 平成27年度に企業誘致ガイドラインを策定し、企業へ情報提供していく。また、市内既存工場の撤退後の対応策を考えたい。

国民健康保険税条例の一部改正 討論

賛成 誠風会 福村光泰議員 健全化に向けた改正を評価

医療費の増加に伴い、国保会計への法定外繰入金が多額となり、一般会計を圧迫している。今回の課税方式の変更と保険料率の改正は、従来からの諸課題を解消し、持続可能な制度運営に資するものと評価できる。今後も適切な制度運営に努めていきたい。

賛成 信政会 鈴木啓太郎議員 合意形成の要件は整っている

医療費および法定外繰入金の増額は国民皆保険を危うくしている。存続のためには広域化以外なく、国会でプログラム法も成立し、県も広域化方針で課税2方式を標準としており、変更は妥当な選択だ。生活困窮者支援法で手厚い相談も準備され、合意形成の要件は整っている。

賛成 公明党 堀口修一議員 制度を維持していくために

本市の国保財政を1人あたりで県内市部と比較すると、医療給付費は高く、保険料は低いという状況にある。その差を法定外繰入金で調整しているという、バランスのとれていない状況が続いている。皆保険制度を維持していくために必要な改正であり、本条例に賛成とする。

反対 日本共産党 伊藤初美議員 国保加入者65%世帯が値上げ

均等割額の増額で、家族が増えるほど国保料が高くなり、国保加入世帯の65%が値上げとなってしまう。消費税増税、医療費の値上げ、年金切り下げなど負担増の続く中で滞納世帯を増やすだけだ。医療の抑制にも繋がり、国民皆保険制度の下で住民の命と健康が守れなくなる。

賛成 無所属 小林恵人議員 変更・改正を行わざるを得ない

独立採算を基本とすべき国保が一般会計から約10億円となる法定外の繰り入れで収支の均衡を図っている。市民を交えた運営協議会では、「7年間も税率改正をしてこなかったことが異常」といった意見もある。当該状況下では、課税方式の変更および税率改正を行わざるを得ない。

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、16人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。(2月下旬掲載予定)

すこやかに育む

：教育

子どもたちの遊びに安全と自由を

島田典朗議員

問 スケートボードなど乗り物遊具による事故が増加し、死亡事故も発生している。安全指導は。

答 各小中学校では、放課後や休日の安全な過ごし方、交通ルールの指導徹底を図っている。

問 他者に迷惑をかけることにより、乗り物遊具の禁止にもつながりかねない。マナーやモラルの指導は。

答 自分を守るだけでなく、相手を守り、今後も引き続き注意していきたい。

小中学校の学習環境

仙田 定議員

問 特別教室にもエアコンの設置拡充を。

答 今夏からのエアコンの活用開始により、授業に対する集中力は格段に高まっている。理科室や家庭科室など特別教室への設置拡充については、今後、協議を進めていきたい。

問 不登校の子の中には、自宅の外に出る機会がなく健康を損ねる子もいる。人と接する機会もなくなり、将来は引きこもりとなる可能性も大きい。

不登校からの引きこもりを防げ

民部佳代議員

問 不登校の子の中には、自宅の外に出る機会がなく健康を損ねる子もいる。人と接する機会もなくなり、将来は引きこもりとなる可能性も大きい。

い。平日の居場所の確保を。

答 教育相談室の適応指導教室や学校の相談室の活用などを推進していく。

問 学校に通うことを目標にするのではなく、ま



ICT教育

が必要ではないか。
答 今後、研究していきたい。

学校図書館に学校司書を

民部佳代議員

問 学校図書館に専任の学校司書の配置を。

答 学校司書の配置は行っていないが、学校図書活用促進員を週あたり1日、3時間配置している。

ICT教育の充実強化を

小林憲人議員

問 市内の小中学校同士や市内外の小中学校と中学校をつ

ないだ共同授業が可能だが、検討は。

答 学校双方の授業は可能。相互通信の新たな可能

性を広げ、便利で有効に活用できるよう進める。

いじめ根絶対策強化を

田村法子議員

問 いじめの方が100%悪いという認識を持って、学校では指導をしてほしい。いじめられた子がいじめることがあるなど、いじめは連鎖する。大切なのは早期発見・早期対策である。いじめの本質をどう捉えているか。

答 どこでも必ず起こり得るものと考えている。いじめを絶対許さない風土を醸成していく。

問 担任だけに任せないでチームとなって取り組むことで、効果があると考えているが、現状は。

答 チームでいじめ対策に取り組むことは、子ども

もたちのSOSを見逃さず、早期解決への手立てとなる。各学校でも組織的な取り組みを推進している。

問 PTA研修会などに祖父母の参加も組み入れてはどうか。

答 家庭教育学級に家庭教育アドバイザーを招き、実施している。今後は祖父母も保護者の一員として参加啓発をしていく。

問 重大ないじめは情報共有すべきでは。

答 校長会でも報告、連絡、相談体制をとり、共通行動を徹底していく。

問 いじめ防止条例を制定してはどうか。

答 条例は現在作成中である。子どもの意見も取り入れ、いじめを防止する実効性のあるものにしていく。

多様な保育サービス

小林憲人議員

問 保育ママ登録制度を活用する市町村が増えている。当該登録制度は、保育士の資格を持つ方などを予め登録する制度。緊急の保育ニーズや市内に眠っている保育人材の再活用を促せるが、導入の考えは。

答 他市町村の実施状況を参考にしながら研究していく。

三角小学校通学路の安全対策

伊藤初美議員

問 三角分館から三角小学校へ向かう関越自動車道トンネル手前の待避所の改善ができないか。

答 ポストコーンを追加設置した。県に押しボタン式信号機の設置要望をしていく。

子どもの保育環境を守るために

伊藤初美議員

問 保育事業を認可する



三角小学校通学路

際は、子どもの保育環境を守るために市の支援や指導が必要ではないか。
答 最低基準を満たしていれば、何でも認可するということでなく、子ども子育て会議の意見を聞きながら、保育の質が低下することのないように指導している。

通学路にグリーンベルトを

塚越洋一議員

問 通学路にグリーンベルトを引くべきでは。

答 路側線を引けない所はグリーンベルトの標示もできない。そのような場所は「ゾーン30」の規制を検討する。

福岡小の敷地内に放課後児童クラブを

伊藤美枝子議員

問 市では、余裕教室の活用や敷地内への移設を進めてきた。敷地外での運営は、福岡小学校のみとなる。安全上でも子どもたちのびのび遊べる点からも移設が必要では。



平成29年4月に学校敷地内に移設予定の放課後児童クラブ

答 福岡小学校の放課後児童クラブは、安全対策

を優先して敷地内へ移設し、平成28年度に建設工

事をを行う。の中学へ進学する小学校と複数の中学校に分散して進学する小学校が複雑に混在し、小中一貫教育を推進する上で大きな課題となっている。今後学校規模や児童数の増減等を踏まえ、学区の再編成を慎重に検討する。

小中一貫校と学習指導要領

小高時男議員

問 政府は平成28年から「小中一貫教育学校」を創設する方針だが、本市は小学校によって複数の中学校へ進学する。学区の再編等を含め、課題は。

答 本市は同一の中学へ進学する小学校と複数の中学校に分散して進学する小学校が複雑に混在し、小中一貫教育を推進する上で大きな課題となっている。今後学校規模や児童数の増減等を踏まえ、学区の再編成を慎重に検討する。

問 学習指導要領が平成32年に改訂されるとのことだが、教育課程の編成はどうなるのか。
答 学習指導要領の主旨を理解し、教育課程を編成し、教育活動充実に努める。

いつまでも健康に

：福祉

シルバー人材センターの活用を

岸川彌生議員

問 高齢者世帯の家事援助などにシルバー人材センターの活用を。

答 介護保険制度が変わり、家事援助などのサ

ビスについては、NPOやボランティアなどが行えることになった。シルバー人材センターはこれらのサービスの担い手として有効である。活用に向けセンターと協議する。

問 シルバー人材センターを派遣事業所として

業務拡大を図っては。
答 多様な就労ニーズへの対応や仕事量の安定的な確保など、派遣事業は有効な手段の一つと考える。適正な就労の確保や労使関係などの課題もあるので研究する。

鍵預かりで一人暮らし高齢者の安心を

島田典朗議員

問 一人暮らし高齢者の居宅の鍵を預かり、異常時の安否確認を行っては、鍵の保管場所や方法など、他市の状況等を検証し研究していきたい。

答 鍵の保管場所や方法など、他市の状況等を検証し研究していきたい。

生活困窮者自立支援制度

山田敏夫議員

問 来年度から始まる、生活保護に至る前段階の生活困窮者自立支援制度の取り組みについては。

答 心理面の専門家やケースワーカー経験者などを配置し、民間のノウハウも活用して福祉総合相談支援体制を構築することを検討していきたい。

感染症へ万全の対策を

堀口修一議員

問 様々な感染症への不安が高まっている。公園など保健衛生の視点で総点検を。また、危機管理として対応をしっかりとコミュニケーションしていくべきでは。

答 公園など蚊の発生しやすい所においては、定期的な清掃、樹木の剪定、除草等を行っている。さらに保健衛生の視点で、適正な管理に努めていく。また、いざという時に、危機管理マニュアルが機能するように、しっかりとコミュニケーションしていく。

複合的な地域福祉の取り組みを

堀口修一議員

問 他市では、介護保険施設と障害児施設が併設され、効果をあげている。今後の地域福祉のあり方として、複合的な取り組みを進めるべきでは。

答 児童発達支援センターで、乳幼児期からの早期対応が可能。適切な療育支援を実施し、障がい者相談支援等と連携し、幼児からの支援体制構築を考える。

問 居場所づくりは、「しゃべり場イベント」等を実施。就労支援は、障がい者就労支援センター等で能力向上の訓練を行い、一般就労に繋がる。今後関係機関と連携し、切れ目のない支援に努める。

問 このような取り組みは、双方にとって有意義しかし、法制上の問題ははじめ様々な課題もあり、今後の研究課題としていく。

医療と介護の連携推進を

小林憲人議員

問 今後、在宅医療・介護の連携や推進を図っていくことになっているが、各医療機関や各介護施設の機能などの把握が難しいといった課題がある。医療と介護の連携の会や地域ケア会議の中で取り上げていく考えは。

特別養護老人ホーム入所対象は

伊藤初美議員

問 介護保険制度の改正で新規入所が要介護3以上のとなる。新たな施設整備が必要ではないか。

答 要介護1・2であっても認知症などを抱え、やむを得ない事情があれば、新規入所を認める場合がある。施設整備の考えは今はない。

自殺対策

谷 新一議員

問 自殺対策として家庭や地域、学校、医療機関等との連携は。

答 市では、職員を対象に自殺のサインに気づき、声かけや話を聞いて

見守るゲートキーパーを養成している。今後は地域住民の方を対象としたゲートキーパーの養成を考えている。

障がい児も学校で過ごしやすい

鈴木啓太郎議員

問 障害者差別解消法に関連して、学校教育の現場ではどのような取り組みをしているのか。

答 障がいの有無にかかわらず、わかりやすい授業を行い、学習への興味・関心を高めるように研究している。黒板周囲の過度な掲示を避け、授業の目当てや予定を掲示して視覚化したり、ICT機器を使用するなどの方法が効果をあげている。

発達障害支援の現状

鈴木啓太郎議員

問 (仮称) 児童発達支援センターの4月開設にあたり、市民のニーズをどのように捉えているのか。

答 乳幼児健診時に経過観察が必要なお子さんは今年度は846人、うち33人が他市の療育支援事業を利用した。今後は市内での早期発見、対応が可能となり、関係機関との連携もとりやすく、継続した支援も行えるようになるかと考えている。

複合的障がいに対するケア体制

足立志津子議員

問 福祉・健康医療・市民生活など、複数の部署が関係するケースに対応できるようなケア体制が必要。

答 新設予定の福祉総合相談窓口から各課が横断的に対応できるように検討中。

商店街の街路灯のLED化

山田敏夫議員

問 商店街の街路灯のLED化については。

答 国の補助金を使って、市内15の商店会のうち10の商店会がLED化の予定である。来年度も国の補助金制度の動向を見ながら、すべての商店街の街路灯を整備していきたい。

ふるさとハローワークの創設を

伊藤初美議員

問 市内にふるさとハローワークの早期設置が待たれているが。

答 平成26年11月に3度目の要望書を提出し、4月下旬に結果がわかる。継続して要望していく。

財源の有効活用を

塚越洋一議員

問 来年度予算編成については、合併特例措置の終了にも配慮しつつ、内部に留保している財源の活用を図り、公立保育所の廃止などは撤回し、待機児童が出たりすることのないように市としての責任を持って、未来を切り開くべく子育て支援施策を積極的に展開すべき。

答 地方交付税の特例は来年度で終了し、その後5年間で段階的に本来の額に戻る。持続可能な財政運営をしていくために、各種基金の計画的な積み立てと効果的な運用

図書館の管理運営

足立志津子議員

問 指定管理者への仕様書には、図書館長に司書資格を求めず、個人情報流出の際の危機管理対応が明記されていないが。

答 図書館長には民間活力を活かしてもらうため、経験・司書資格を求めない。司書をまとめる責任者を置いて、図書館法に基づいた図書館業務を行い、個人情報保護法などを遵守してもらう。

基金の設置

山田敏夫議員

問 ふじみ野市運動公園の整備と施設老朽化対策のための基金の設置については。

答 プールの解体や公園の整備には、地盤調査などが必要である。今後

※特定優良賃貸住宅制度 民間の土地所有者が一定基準以上の優良な賃貸住宅を建設し、中堅所得者に供給するもの。

住みやすいまちへ

少子化対策、空き家対策に進展を

島田典朗議員

問 特定優良賃貸住宅制度を活用し、空き家を子育て世代への支援に用いては。

答 国土交通省の平成27年度予算概算要求に含まれているので、今後の国の動向に注視していきたい。

放置自転車の解消に向けて

仙田 定議員

問 上福岡駅西口広場の



駅前名店街での大衆市

点字ブロック上の放置自転車の解消を。撤去作業の回数を増やして効果を上げているが、撤去して空いたスペースに、さらに駐車さ

な取り組みを。活性化に向けた新たな取り組みを。

答 活性化事業のキーパーソンとなる人材育成を図れるような新たな事業展開などを、商工会や商店会連合会と連携して研究していきたい。

商店街の活性化

仙田 定議員

問 商店街活性化に向けた新たな取り組みを。

答 活性化事業のキーパーソンとなる人材育成を図れるような新たな事業展開などを、商工会や商店会連合会と連携して研究していきたい。

のら猫対策

民部佳代議員

問 のら猫の不妊・去勢手術に助成を。

答 効果の測定が難しく、財源的にも厳しい。



運動公園として最もふさわしい整備について検討したい。施設の老朽化対策の費用については、計画的に公共施設整備基金を積み立てていきたい。また、公共施設等総合管理計画を策定する際には、新たな基金のあり方も検討したい。

旧上福岡プールの解体し跡地活用を

伊藤美枝子議員

旧上福岡プールを休止して丸8年が経過し、そのままの状態にある。防犯上も解体が望ましい。



旧上福岡プール

跡地活用を。プール解体及びその後の整備計画は、地盤調査など詳しい調査が必要状況。運動公園にふさわしい整備の方向性を検討する。

水道事業の維持管理

小高時男議員

水道事業は料金収入で賄う独立採算が原則。平成25年度末で給水原価134・01円/m、供給単価111・81円/mとなっており、1m当たり22・2円の逆さやの状態となっている。現在は人口増により加入金等の収入で収支の均衡を保っているが、今後、地震発生時に人命や社会経済に重大な影響を与える耐震性が低い石綿セメント管等の、老朽管の更新事業に費用が必要となるのでは。

老朽管の更新は、費用が高額となる大口径の管渠が多く残っている。給水原価が供給単価を上回る逆さやの状態が続いているのか。

工事完了後、市の立ち会いにより損傷箇所の検査をするので、損傷箇所が取り壊され宅地の開発が進んでいるが、前面の道路及び歩道に損傷箇所が生じている。工事に伴う損傷について、開発事業者との協議はされているのか。

住民生活を守る

環境整備

ており、安定した水道事業を継続するため経費の削減に努める。継続困難な場合は、料金の改定を

お願いする場合も考えられる。

土地の有効利用

仙田 定議員

上福岡5丁目雨水浸透槽設置後の土地に、ポケットパークを。

施設の維持管理に支障とならない範囲で、ベンチ等を設置できるスペースを設けたい。

旧尚美学園大学前道路及び歩道の補修

西 和彦議員

旧尚美学園大学は、建物を取り壊され宅地の開発が進んでいるが、前面の道路及び歩道に損傷箇所が生じている。工事に伴う損傷について、開発事業者との協議はされているのか。

工事完了後、市の立ち会いにより損傷箇所の検査をするので、損傷箇所が取り壊され宅地の開発が進んでいるが、前面の道路及び歩道に損傷箇所が生じている。工事に伴う損傷について、開発事業者との協議はされているのか。

所があれば補修をさせる。

旧埼玉県大井教職員住宅跡地の利用

西 和彦議員

旧埼玉県大井教職員住宅については、現在利用がされていないが、市としてこの跡地利用についてどのように考えているのか。

この施設について、県から買い取り希望の打診があり、都市公園用地とする方向で話し合っているのか。



旧教職員住宅

無線LANの早期導入を

小林憲人議員

災害時は避難所となり、平常時は会議室となる施設については、無線LANスポットを導入すべきでは。

関係部署と調整を図りながら、導入に向けた研究を進める。

新設バス路線の停留所等の協議

谷 新一議員

ふじみ野駅東口とららばーと富士見を結ぶ新設バス路線の停留所等の協議については。

市内に停留所の計画はなかったため、市では2カ所の設置を要請した。事業者からは1カ所設置する回答が得られている。

溢水の危険性は

谷 新一議員

元福岡地域に設置される排水ポンプ等の効果と、江川都市下水路から

公民館の利用権利

塚越洋一議員

の溢水の危険性は。逆流防止弁により江川都市下水路からの逆流を防ぎ、内水を一時貯留したピットから強制排水する。また近年のゲリラ豪雨等により溢水した例はない。

「平和都市宣言」の懸垂幕を

伊藤初美議員

平成27年は平和都市宣言から5周年。市役所に懸垂幕を設置しては。

庁舎整備の環境が整った段階で検討したい。



市民平和のつどい

防災訓練のさらなる充実で市民に安心を

岸川彌生議員

防災訓練の様子を広く市民にPRし、さらに啓発を図っては。

市報等の紙でのPRのほか、報道機関の協力を得てDVDを作成し、庁舎ロビーなどでも放映する。障がいのある方々の声を防災訓練に反映して

下福岡地域に水害避難道路を

足立志津子議員

40年近く待望されている旧福岡高校西側、市道第667号線の進捗状況と、県道との交差部分の安全対策は。

幅6m、全長300mの整備で、小型車の交互通行が可能。県道交差部分は路面標示と車幅制限で安全を図り、平成27

年度中に完成予定。

富士見都市計画の協議機関連の必要性

谷 新一議員

2市1町で構成する富士見都市計画の協議機関連の必要性については。

都市計画決定等をする場合には、構成市町の一体性を確保する必要がある。今後、他の市町の意向を確認しながら検討していきたい。

安全なまちへ

：防災

ほしい。

障がいのある方々への情報保障やコミュニケーション手段のよりよい活用が図れるよう検討するとともに、障がい者団体の方々と意見交換を行い課題解決に努める。

防犯対策

仙田 定議員

上福岡駅前広場に、防犯カメラと情報発信のた

地区計画で防災意識の向上を

堀口修一議員

国において、地区防

めに電光掲示板の設置を。

防犯カメラ付き自動販売機の導入にあたり、駅前周辺への設置も含めて検討する。電光掲示板については、設置場所や費用面の課題もあるが、今後の検討課題とする。

総合防災訓練の課題

鈴木啓太郎議員

3回目の総合防災訓練が行われたが、今後は市民の参加意欲を高めていくのも重要である。事業後のアンケートなどに特徴はあるか。

文化祭などの事業が重ならないようにしてほしいといった意見のほか、自助のための訓練



初期消火設備による訓練

強化を目指す、市民や自治組織が主体的に実施する必要性を求める声が多数あり、検討課題としていく。

市防災計画と自主防災組織の活動

足立志津子議員

自治会・町内会が、地震・水害など災害の実態に合わせ地域計画を立てられるように、消防職員退職者の協力など人的支援、財政的支援が必要では。

自主防災組織への補助金増額を準備中。

編集委員が
インタビュー!

表紙：働く人シリーズに寄せて

綿屋さんに伺いました

Q どのようなお仕事ですか？

A 古くなったふとんの中の綿を再生し、布団を生まれ変わらせています。

Q 再生の方法は？

A まず古い綿を細かく裁断し、繊維を解きほぐします。その際、ゴミやホコリも取り除きます。少なくなった分の綿を足し、布団に詰めて完成です。四隅にしっかりと綿を詰める作業は、機械ではできない職人の技です。綿の配合もお客様の要望にあわせています。

Q 綿ふとんの魅力は何ですか？

A 吸湿性ととても優れています。人は寝ている間にコップ1杯ほどの汗をかくといわれていますので、ふとんに求められる重要な要素です。ただし、綿は天然素材ですので、こまめに天日に干すよう心がけて下さい。ふっくら、温かな綿の特徴を感じてもらえると思います。

Q 寝具も洋式化が進んでいるのでは？

A ベッドも増えていますが、化学繊維の安価な寝具も増えていきます。使い捨ての感覚になっているのかもしれませんが。綿ふとんは打ち直せば半永久的に使うことができます。日本に古くから伝わる生活の知恵だと思います。ぜひ一人でも多くの人に、ふかふかの綿ふとんの魅力を知っていただきたいですね。



ご協力：製綿業 鈴木幸平さん

議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。
市議会の議事録も見られます。

<http://www.city.fujimino.saitama.jp/assembly/>



12月定例会の傍聴者は72人でした。

傍聴をお待ちしています

次の定例会の
開 会 予 定：2月27日午前9:30～

請願締め切り予定：2月17日午前10:00

上福岡公民館で開催します

議会広報常任委員会

委員長	田村 法子	副委員長	小林 憲人
委員	島田 典朗	委員	鈴木啓太郎
委員	仙田 定	委員	伊藤 初美
委員	五十嵐正明		

表紙の題字を書いてくれた人

葦原中3年 榊原未唯さん

ふじみ野



私の好きなことは、字を書くことです。特に筆で書くのが大好きで、納得のいく字が書けたときがとてもうれしいです。

編集後記

街をイルミネーションが彩り、星空が一段と光を放つ12月。師走の慌ただしさを直に感じ取りながら、きらりと光る「輝き」を見つける定例会となりました。

本定例会では、家庭保育室等の運営補助や障害者就労支援施設の新設に伴う給付、長年の懸案だった元福岡地区の雨水対策など、暮らしに資する補正予算が組まれました。

また、元気・健康都市が宣言され、ふじみ野市多目的グラウンド条例も制定されました。一人一人がいつまでも「輝き」、元気・健康の好循環を創り出す体制が整いましたが、その「輝き」には、自己研鑽も必要です。

定例会閉会后、夜空に浮かぶオリオンは、眼下の喧騒に淀むことなく静かに光をまとっていきました。(小林憲人)